

災害に強いまち白金学区をめざして

昭和区白金学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、白金学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

このマップで示す避難ルートは、ハザードマップ等を参考に作成したルートであり、災害時の安全性を保障するものではありません。災害時には状況を確認しつつ、安全なルートで避難してください。

【地域の避難先例】

1. 一時集合場所に避難しましょう。
2. 自宅に住めない場合は、白金小学校または白金コミュニティセンターへ避難しましょう。

(お願い)

自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。高齢者や障がいのある方など、自力で避難が難しい方は、地域で協力して避難先へ誘導しましょう。

西日本宇佐美東郊通店

ホンダカーズ愛知東郊通店

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど

このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人々を支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 災害救援自動販売機

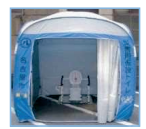
対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

3. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



このマンホールが目印です



トヨタL&F中部

大明建設株式会社

愛知トヨタ高辻

指定避難所一覧

- ① 白金小学校
- ② 白金コミュニティセンター
- ③ ATグループ本社 愛知トヨタ高辻

町内会の一時的集合場所

公衆電話

NTT が設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。



トヨタレンタリース愛知高辻店

フォルクスワーゲン昭和

レクサス昭和

創価学会

気を付けて!!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険があります。

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかないようにしましょう。

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性があります。

4. 電線 (高圧線)

切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかないでください。また、高圧線の落下にも注意しましょう。

● 凡例

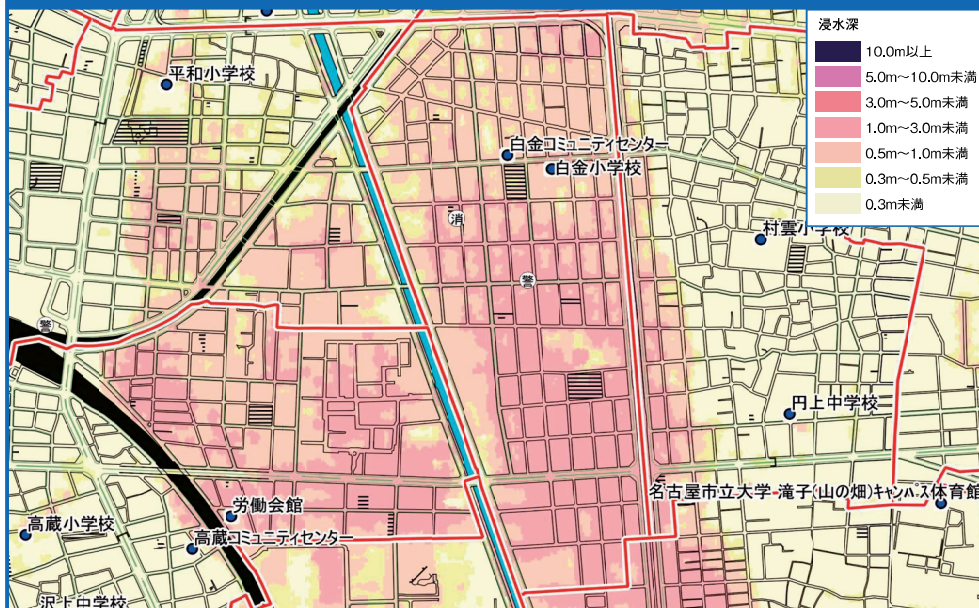
指定避難所	家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を、一時的に受け入れ、滞在させるための施設です。	一時集合場所
公衆トイレ		下水道直結式仮設トイレ (マンホールトイレ)
地下式給水栓		防火水槽
地域防災協力事業所		AED (自動体外式除細動器)
井戸		公衆電話
		学区境
		避難経路の例

令和4年6月に 風水害ハザードマップが改正されました

お住いの地域の浸水想定について把握し、いざというときの避難行動について家族と話し合うなど、日ごろから災害に備えましょう。

※ここでは内水ハザードマップのみを掲載していますが、「洪水」「高潮」「地震」のハザードマップも確認しておきましょう。

白金学区の内水氾濫浸水想定



● 指定緊急避難場所 (消) 消防署・出張所 (警) 警察署・交番
 ■ 河川・池等 ■ 鉄道 ■ 公園

我が家の避難先

次の空欄に記入しておきましょう。また、自宅周辺の気を付ける必要がある場所はマップに書き込んでおきましょう。

自宅にとどまると命を守れない場合 (指定緊急避難所などへ避難)	〈台風や大雨が起こったら〉	
	洪水・内水氾濫の危険がある場合	土砂災害の危険がある場合
自宅が被災して住めなくなった場合 (指定避難所などへ避難)	〈大きな地震が起こったら〉	
	津波浸水の危険がある場合	余震が続く場合
	大規模な火事が発生した場合	

非常持出品の準備

【命をつなぐために用意しておきたいもの】

7日分程度用意しましょう

- ☐ 保存がきく食品(自分が食べやすいもの)
 - ☐ 常備薬(持病の薬を含む)
 - ☐ 飲料水(ペットボトル)
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

【備蓄品の例】 災害に備えて用意しておきたいもの

防災用品

- ☐ 給水用のポリ容器・バケツ
- ☐ ロープ
- ☐ バール
- ☐ のこぎり・工具など

燃料

- ☐ カセットコンロ(予備のボンベ含む)
- ☐ 固形燃料

寝具等

- ☐ 毛布
- ☐ 寝袋
- ☐ キャンプ用テント

便利用品

- ☐ ドライシャンプー

防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット
- ☐ 防災ずきん
- ☐ 軍手
- ☐ マスク

貴重品

- ☐ 現金(小銭も必要)
- ☐ 預(貯)金通帳の写し
- ☐ 健康保険証・免許証の写し
- ☐ カード類
- ☐ 認印・印鑑など

照明等

- ☐ 懐中電灯(電池含む)
- ☐ マッチ・ライター

食器類

- ☐ はし・スプーン
- ☐ 紙皿・紙コップ

医療用品

- ☐ 三角さん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒薬
- ☐ ウェットティッシュ(ティッシュ)
- ☐ お薬手帳

便利用品

- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ キッチン用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 雨具
- ☐ 手持携帯電話充電器

その他(個人的に必要なもの)

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 生理用品
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 予備のメガネ・補聴器など

風水害時の行動

3日前 台風が発生した

情報収集

- テレビ・ラジオ・スマホなどから台風の大きさ・強さや川の水位などの情報を入手

2日前 台風や大雨が来るぞ!!

準備

- ハザードマップで指定緊急避難場所、指定避難所や浸水想定区域等の確認
- 家族との連絡方法の確認
- 家の周りの飛ばされやすいものや、流されやすいものの片付け



1日前 雨足が強くなってきた!! 避難の判断



- 情報収集を続けて、避難開始時期を判断
- 50cm以上の浸水時は避難に危険が伴うため注意
- 自主的に避難する場合には、事前に区役所へ連絡する

- 洪水・内水氾濫の想定浸水深より下の階にいる
- 土砂災害警戒区域にいる
- 堤防の近くで、安全な建物にいない ※鉄筋コンクリート造

該当しない

どれか一つ以上該当する

自宅などに
とどまる

避難情報の発令等により避難行動!!

避難開始

- 高齢者等避難
避難を促すために発令。高齢者や障害のある方など避難に時間のかかる方は危険な場所から避難
- 避難指示
被害が発生する恐れが高いため、速やかに危険な場所から全員避難
- 緊急安全確保
災害が発生又は切迫しており、ただちに命を守る最善の行動をとる

気を付けて!(風水害編)

1.マンホール・側溝

マンホールや側溝は足を取られる危険があるため、道路の中央や端を避けて避難する。



2.アンダーパス、よく冠水・浸水する場所

掘り下げ式の道路であるアンダーパスや、よく冠水したり、過去に浸水した場所は浸水している可能性があるため、避けて避難する。

◆避難先へ安全に避難するための5つのポイント

- 1 ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る!
- 2 「一緒に逃げよう」近所への声かけ!
- 3 高齢者や障害者などの避難誘導を!
- 4 原則徒歩で!(流滞抑止・高齢者や障害者などの避難を妨げない)
- 5 木造住宅密集地、かけ地や川の近くは避けて!

